



こぼと

千葉市立第二養護学校

学 校 だ よ り

令和 8 年 3 月 17 日
第 11 号



新しいスタートラインへ

校長 渡 邊 幸 也

令和7年度も残すところ「あと4日」となりました。今年は比較的暖かな冬で、桜の開花も少し早まりそうです。桜もすっかり、3月の花になってしまいました。

明日は、19名のこぼとが巣立つ「第48回卒業証書授与式」が挙行されます。6年生が入学した令和2年度は、日本の学校教育史上で大変特異な一年間でした。コロナ感染症の拡大により全国一斉臨時休校の措置が取られ、千葉市は3月中旬より休校となりました。コロナ感染症の影響は長期化し、4月の入学式も延期となり、臨時休校が続きました。入学式は6月に入ってから行われ、ようやく二養での学校生活がスタートしました。入学式が6月に行われたのは、この令和2年度のみです。密を避けることやソーシャルディスタンスの確保などの制限が多い中、行事や交流活動などもほとんど行うことができませんでした。ギガタブ（一人一台端末）も当初はなく、リモートによる校内での交流も難しい状況でした。後期になり、感染拡大防止に留意の上で少しずつ活動が再開になっていった一年間でした。義務教育9か年のスタートの年は、保護者の皆様やお子様にとっても大変な一年間であったと思います。令和5年5月にコロナが2類から5類に変更され、4年生の途中から徐々に二養での日常の学校生活を送ることができるようになりました。4年生の9か月間と5・6年生の2年間という短い期間でしたが、二養の日常生活を送り、たくさんのことを学び身につけることができました。6年生19名は「千葉市立第二養護学校」の最後の卒業生であり、「千葉市立特別支援学校」の最初の入学生となります。本校は「千葉市立第二特別支援学校」の新しいスタートラインに立ちます。19名のこぼとも「千葉市立特別支援学校中学部」の新しいスタートラインに立ちます。4月は共に最高のスタートを切りましょう。

今年度は、1年生は196日、2～5年生は198日、6年生は195日の二養での生活を送りました。この一年間で「できること」「できそうになってきたこと」が増えたのではないかと思います。ご家庭と学校がしっかりとスクラムを組み、車の両輪となってお子様のより良い成長のために取り組んできたからであり、さらには保護者の皆様の本校教育活動へのご理解とご協力があったからこそ、お子様の成長です。令和7年度も、本校の教育活動に対しまして、多大なるご理解とご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。今年度もあとわずかとなりましたが、引き続きスクラムを組み精一杯取り組む所存です。そして保護者の皆様と教職員がしっかりとスクラムを組み、卒業式・修了式のゴールテープをお子様と一緒に横一列で一緒に切りましょう。そして来年度も「千葉市立第二特別支援学校」という新しい学校名のもと、変わらない新しい本校の歴史を、保護者の皆様としっかりとスクラムを組み歩んでまいります。令和8年度も引き続き、本校教育活動へのお力添えをいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

